

被ばく線量の分布等について

1. 被ばく線量

福島第一原子力発電所にて放射線業務に従事した作業者の過去3ヶ月の外部被ばく線量分布（各月別の全入域者数）を表1に示す。

表1

区分(mSv)	H26.3月			H26.4月			H26.5月		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20超え～50以下	0	0	0	0	0	0	0	1	1
10超え～20以下	0	23	23	0	19	19	0	33	33
5超え～10以下	0	227	227	1	234	235	0	180	180
1超え～5以下	85	1867	1952	94	1743	1837	49	1698	1747
1以下	1012	4940	5952	999	5438	6437	954	5792	6746
計	1097	7057	8154	1094	7434	8528	1003	7704	8707
最大(mSv)	4.80	18.49	18.49	5.70	16.00	16.00	4.91	20.70	20.70
平均(mSv)	0.36	1.07	0.98	0.38	0.98	0.91	0.25	0.89	0.82

※A P D値の積算値の積算型線量計による月間線量値への置き換えや、積算型線量計のみの着用者（例：免震棟のみの作業員）の値の反映等により線量・人数が変動することがある。

2. 外部被ばく線量と内部被ばく線量の合算値

福島第一原子力発電所にて放射線業務に従事した作業者の4月末（H23.3.11～H26.4.30）と5月末（H23.3.11～H26.5.31）の累積線量分布の比較を表2に、4月末（H26.4）と5月末（H26.4～H26.5）の累積線量分布を表3に示す。

表2

区分(mSv)	H23.3～H26.4月			H23.3～H26.5月			増減		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
250超え	6	0	6	6	0	6	0	0	0
200超え～250以下	1	2	3	1	2	3	0	0	0
150超え～200以下	25	2	27	25	2	27	0	0	0
100超え～150以下	118	20	138	118	20	138	0	0	0
75超え～100以下	272	134	406	273	136	409	1	2	3
50超え～75以下	322	980	1302	322	1013	1335	0	33	33
20超え～50以下	608	4563	5171	609	4661	5270	1	98	99
10超え～20以下	556	4223	4779	562	4264	4826	6	41	47
5超え～10以下	458	3971	4429	459	4040	4499	1	69	70
1超え～5以下	730	7475	8205	738	7747	8485	8	272	280
1以下	1074	8665	9739	1092	8997	10089	18	332	350
計	4170	30035	34205	4205	30882	35087	35	847	882
最大(mSv)	678.80	238.42	678.80	678.80	238.42	678.80	-	-	-
平均(mSv)	23.58	10.95	12.49	23.45	10.87	12.38	-	-	-

※A P D値の積算値の積算型線量計による月間線量値への置き換えや、積算型線量計のみの着用者（例：免震棟のみの作業員）の値の反映等により線量・人数が変動することがある。

※H23.10月以降、有意な内部取り込みは認められていない。

表 3

区分(mSv)	H26.4月			H26.4～H26.5月			増減		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20超え～50以下	0	0	0	0	4	4	0	4	4
10超え～20以下	0	19	19	0	164	164	0	145	145
5超え～10以下	1	234	235	8	539	547	7	305	312
1超え～5以下	94	1743	1837	198	2885	3083	104	1142	1246
1以下	999	5438	6437	1004	5378	6382	5	-60	-55
計	1094	7434	8528	1210	8970	10180	116	1536	1652
最大(mSv)	5.70	16.00	16.00	8.61	28.82	28.82	-	-	-
平均(mSv)	0.38	0.98	0.91	0.55	1.58	1.46	-	-	-

※A P D値の積算値の積算型線量計による月間線量値への置き換えや、積算型線量計のみの着用者（例：免震棟のみの作業員）の値の反映等により線量・人数が変動することがある。

3. 特定高線量作業従事者の外部被ばく線量と内部被ばく線量の合算値

特定高線量作業従事者^{※1}の累積線量分布を表4に示す。

表 4

区分(mSv)	H26.3月	H26.4月	H26.5月	H23.3月～H26.5月
100超え	0	0	0	1
75超え～100以下	0	0	0	163
50超え～75以下	0	0	0	213
20超え～50以下	0	0	0	241
10超え～20以下	0	0	0	145
5超え～10以下	0	0	0	111
1超え～5以下	84	86	44	130
1以下	534	520	543	41
計	618	606	587	1045
最大(mSv)	4.80	4.80	4.91	102.69
平均(mSv)	0.51	0.52	0.32	37.12

（5月の特定高線量作業従事者は632名おり、その内45名については現場作業実績なし）

※1 特定高線量作業従事者

電離放射線障害防止規則第7条の緊急被ばく限度（100mSv）が適用されるとされている作業に従事する者。具体的には、発電所に属する原子炉施設並びに蒸気タービン及びその付属設備又はその周辺の区域であって、その線量が1時間につき0.1mSvを超えるおそれのある場所において、原子炉施設若しくは使用済燃料貯蔵槽を冷却する設備の機能を維持するための作業を行うとき又は原子炉施設の故障、破損等により多量の放射性物質の放出のおそれのある場合に、これを抑制若しくは防止するための機能を維持するための作業に従事する者を指す。

なお、これまでの特定高線量作業従事者については東電社員のみが対象者である。

※2 各月の特定高線量作業従事者は、当該月に特定高線量従事者として申請していた従事者人数である。

ただし、H23.3月～H26.5月の累計については、特定高線量作業従事者を解除した者も含む。

※3 A P D値の積算値の積算型線量計による月間線量値への置き換えや、積算型線量計のみの着用者（例：免震棟のみの作業員）の値の反映等により線量・人数が変動することがある。

※4 H23.3月～H26.5月の累計の最大値（100超え）は、H25.7月に実施したH23.3月の内部被ばく線量を見直したことに伴うものである。

以上